

# 新企画「煩惱とクリエイティビティ」 小さな煩惱を社会のための大きな煩惱へ



1回目のゲスト「笑い飯」哲夫さん

校友会報第93号(9月30日発行)の一角に、「コレはなんだ?」と思うような謎の広告を掲載しました。また、校友会HPのTOP画面に表示されたひとときが目立つ斬新なデザインが目についたという方もいらっしゃると思います。

## 煩惱とクリエイティビティ



Ryukoku Univ. Alumni News No. 94

# 龍谷大学 校友会報



【校友総数 205,000名】  
2022(令和4)年3月15日  
第94号  
発行=龍谷大学校友会  
編集=校友会広報部  
<https://www.ryukoku.ac.jp>

京都市伏見区深草塚本町67  
龍谷大学内  
校友会事務局  
TEL075-645-2015 FAX075-645-2017



龍谷賞校友会賞受賞者、校友短信・2面  
Who's Who、校友クローズアップ・3面  
経営者登場、校友最前線……4面  
特集「校友会支部会報」編集長に聞く・5面  
海外で活躍する校友、各学部同窓会の事業・6面  
支部の活動、ホームカミングデー開催・7面  
支部に学ぶ、校友のお店……8面



©タナベボクシングジム提供



「煩惱とクリエイティビティ」(略して「煩クリ」)。21年度校友会の新事業として企画したプロジェクトです。  
このプロジェクトは、校友会の未来を見据えた将来像を描き、校友と大学貢献するための道筋を開拓するため、若手役員を中心に結成したワーキンググループにおいて、1年間をかけて構想した新しい取り組みです。

## 前向きな「煩惱」へ

ワーキンググループでは、母校龍谷大学の「建学の精神」である「仏教の思想」をもとに、これからの社会に必要なとされる思想哲学を生活に取り入れてもらえるかたちに変換して発信し、校友会と卒業生とのネットワークを形成したいと考えました。

そこで、仏教に深く関わり、人間を突き動かす「煩惱」に着目し、「この一見「負」の効果をもたらすもの」と認識をされかねない「煩惱」を前向きに捉え、新しい価値を生み出す知性として学び直す取り組みを行うとはどうかと考えました。これは、私たちが抱える悩みや欲望をただ否定するのではなく、自分らしい暮らしや新しい価値創造へとつながる煩惱の生かし方を探求、発信することを目的にしたもので、初年度の21年度は各界で創造的な実践をされているゲストをお招きして全3回の連続トークイベント(オンライン)を配信することが決定しました。

## 全3回のオンライントークイベント

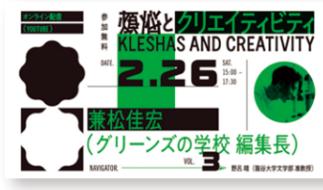
記念すべき第1回目は、お笑い芸人で仏教にも造詣の深い「笑い飯」の哲夫さん(現 相愛大学客員教授でもある)と龍谷大学入澤学長のトークイベントを実施しました。オンライン配信という、撮影現場にスタンプしにくい難しい状況の中、哲夫さんが徐々に

2回目は1月22日に作家の岸田奈美さん、3回目は2月26日に勉強家で編集者の兼松佳宏さんを招いてそれぞれの「煩惱とクリエイティビティ」について語っていただく予定です(1月21日時点)。また、次年度は、トークイベント

※イベントの内容については、オンデマンド配信(期間限定)を行っています。詳細は校友会HPや「煩惱とクリエイティビティ」各種SNSで確認してください。22年度の開催についても、決まり次第HPやSNSでお知らせします。(校友会理事 田中友悟) Twitter@boncre Instagram@boncre Facebook@boncre2021

また、哲夫さんと入澤学長の息の合った掛け合いで私たちの日々の生活を豊かにしてくれている「お笑い」というクリエイティブをテーマに、人間にとって笑うこととはなにか、ネタづくりと煩惱の関係等について語り合っていたください。

校友会の未来を見据えた新企画「煩惱とクリエイティビティ」の今後の活動にぜひ注目してください。



### 谷口 将隆さん(16年文卒)

#### ボクシングWBO ミニマム級世界チャンピオン

21年12月14日、WBO世界ボクシング機構ミニマム級タイトルマッチにて、同級王者のウィルフレド・メンデス選手に挑み、11回TKOで勝利し、世界王者の座に輝きました。  
↓3面に続く

## 龍谷ミュージアム

### 春季特別展 「ブッダのお弟子さん - 教えをつなぐ物語 -」

ブッダを支え最も活躍した十大弟子や、涅槃時に後を任された十六羅漢、そして維摩居士に代表される在家信者たちに焦点を当てます。インドや東南アジア、東アジアで大切に伝えられてきた彼らのすがたを個性豊かなエピソードと共に紹介します。



木造 迦葉立像(釈迦如来坐像 および阿難・迦葉立像のうち) 康俊作 南北朝・貞和3年(1347) 和歌山・海雲寺 画像提供:和歌山県立博物館

※2020年にコロナ禍で中止となった展示会の一部を変更して開催します。

- ◆会期: 2022年4月23日(土)～6月19日(日)
- ◆休館日: 月曜日
- ◆開館時間: 10時～17時 ※入館は16時30分まで
- ◆入館料: 一般1,300円
- ◆問い合わせ: 龍谷大学 龍谷ミュージアム TEL: 075-351-2500 ryumuse@ad.ryukoku.ac.jp

#### 次回予告

企画展: 「岡山・宗教美術の名宝Ⅲ 岡山の浄土教美術」  
2022年7月16日(土)～8月21日(日)

## 龍谷ミュージアム 無料ご優待券

期日: 2022年11月23日(水・祝)まで (お一人様1回限り、同伴者1名含め無料でご利用いただけます)

切り取ってご使用ください

## 2022年度 全国校友大会 in 京都 開催(予定)

### 2022年7月2日(土)

- ◆集合場所: 龍谷大学深草キャンパス
- ◆集合時間: 12時30分 ※キャンパスは11時から開放します。
- ◆参加対象者: 卒業生、同伴者(家族、友人)
- ◆参加費: 1人1,000円(大人、子ども、卒業生、それ以外の方も問わず一律料金)
- ◆申し込み: 2022年4月4日(月)～4月28日(木) 龍谷大学校友会ホームページからお申し込みください。

#### スケジュール

- 11時～ 深草キャンパスで過ごしていただけます。
- 12時30分 開会式
- 12時45分 全員で記念写真撮影
- 13時 申し込みの各コースにバスで出発 (一部、京阪電車を利用するコースあり)

- (1) 11の魅力なコースをご用意。 聖護院、壬生寺などの寺院の特別拝観や、大宮、瀬田キャンパスコースなど。
  - (2) うれしい特典、お土産付き ① 生協食堂・スタバ校内店で利用できるチケット進呈(500円分:当日限り有効) ② 校友会オリジナル記念品 ③ その他、うれしいお土産をご用意。
  - (3) 学生ガイドによる深草キャンパスミニツアー(無料、要申し込み)
  - (4) ゼミやサークルの仲間との集まりの場としてゼミ室を用意。
- ※上記は、2月10日時点の予定です。状況により内容の変更、または中止となる場合があります。詳細は、校友会ホームページで順次紹介していきます。(4月4日～)

まずは、深草キャンパスに集合!

## 2022年度 龍谷大学「心の講座」in 京都

会場: 龍谷大学響都ホール 校友会館(要事前申し込み・参加費無料)

- 4月30日(土) 井上 見淳氏 (龍谷大学社会学部准教授) 「そのまのまの教い - 浄土真宗の世界 -」 やなせ なな 師 (僧侶、歌手) お話とコンサート 「悲しみの先に開かれる世界」
- 5月28日(土) 川越 宗一氏 (小説家: 2019年下半期直木賞受賞) 安藤 徹氏 (龍谷大学副学長、龍谷大学文学部教授) 対談 「間(あわい)を生きて - 一時と時、文化と文化、人と人 -」 広瀬 卓爾師 (佛教学名譽教授、浄土宗平和協理理事) 「仏教者の平和課題…『怨親平等』・『兵戈無用』…」
- 6月25日(土) 加藤 朝胤師 (法相宗大本山薬師寺管主、龍谷大学文学部特別講師) 「白鳳文化への誘い(いざない)」 アイリーン・美緒子・スミス氏 (NGOグリーン・アクション代表、環境ジャーナリスト) 「水俣病から今、学ぶべきこと」
- 7月23日(土) 佐々木 閑氏 (花園大学文学部仏教学科教授) 「現代社会の中の仏教」 深尾 昌峰氏 (龍谷大学政策学部教授) 「人口減少社会をどう生き抜くか～SDGsと私たちの暮らし～」
- 9月17日(土) 長谷川 岳史氏 (龍谷大学経営学部長、龍谷大学経営学部教授) 「疫病と災害と仏教 ～『不安』と向き合った僧侶たち～」 桂 優々氏 (09年文卒) 雷門 音助氏 (10年経営卒) (龍谷大学学生会学術文化局落語研究会出身の落語家) 「演目は当日のお楽しみ」

主催: 龍谷大学校友会 龍谷大学校友会各支部 龍谷大学各学部同窓会 共催: 読売新聞社

※肩書は2022年2月10日現在で表記しています。 ※やむを得ない事情により、講師やテーマを変更することがあります。 ※座席数の制限の中で開催することがあります。 ※各回の内容、申し込み開始日や申し込み方法、オンデマンド配信などの情報は校友会ホームページで確認してください。 (お問い合わせ) TEL: 077-533-1241 宮川印刷株式会社 2022年度龍谷大学心の講座: 受付係

# 第32回 龍谷賞受賞者

社会に貢献し、顕著な業績をあげた校友会員(卒業生)に対し、「龍谷賞」特別賞を贈っています。

## 龍谷賞

聖徳宗第7代管長、第130世法隆寺住職



古谷 正覚さん (71年文卒)

築群をはじめ多くの国宝を有する法隆寺住職として、日本初の憲法「十七条憲法」も含め、太子の精神である仏法を大切にされ、また、日本初のユネスコ世界文化遺産に認定された文化財の維持に努められ、広く内外に平和の精神をアピールすることに尽力されています。

## 龍谷奨励賞

99年より法隆寺執事長、19年に管長代務を経て、20年に聖徳宗第7代管長、第130世法隆寺住職に就任され、1400年の法灯を受け継がれました。特に21年は、聖徳太子1400年の大遠忌にあたり、世界最古の木造建

有限責任事業組合まこととご総合研究所共同代表、京都市伏見いきいき市民活動センターセンター長



三木 俊和さん (12年法院了)

大学院在学中に、特定非営利活動法人「きょうとNPOセンター」に就職。その後「若者が、地域課題解決に本気で参画できる場の提供」を念頭に、龍谷大学と同センターが協働するプログラムを運営され、地域の課題解決に卒業生と在生が共に取り組む仕組みを立ち上げられ、深草キャンパスの地域で運営し続けておられます。

## 龍谷奨励賞

鳥取県スポーツ協会



瀬川 和正さん (14年経済卒)

在学中からヨットを始め、卒業後にレーザー級のトップセーラーへと成長されました。レーザー級での東京オリンピック出場を目指されていましたが、日本代表選考で敗退後、強靱なフィジカルが要求されるフィン級へ転向し、急ピッチで肉體改造

## 龍谷特別賞

尺八演奏家(芸名三好亮山)



三好 嘉一さん (68年経済卒)

日本で数少ないプロの尺八演奏家として洋楽器やオーケストラとの競演も多く、幅の広い活動を続け、世界20数か国において、日本の伝統文化の紹介、尺八の普及、発展に努めておられます。

# 第21回 校友会賞受賞者

課外活動などで顕著な成績を上げ、母校発展の気運を盛り上げた学生(在生)に対して、その功績を称え、表彰しています。

個人(ボランティア・NPO活動センター 学生スタッフ)

個人(ゴルフ部所属) 仲村 果乃 (経済学部2年) 本学ゴルフ部に入学してすぐに中心選手として活躍し、20年度に開催された関西学生女子リーグ1部昇格の原動力となり、個人では龍谷大学の学生として20数年ぶりに関西女子学生ゴルフ選手権で優勝し、全国大会への出場を果たされました。

個人(バトン・チャアソソクス所属) 末谷 朴 (21年農卒) 原田 ひかり (21年社会卒) バトンチームをけん引し、第47回全国大会団体の部での、4回連続の金賞受賞に大きく貢献されました。また、第48回全国大会はコロナ禍のため賞の設定がない開催の中、予選大会での出場権を獲得し、全国トップクラスの選手を集めた全日本選手権「シニアII部門」に出場し、3位の好成績を収められました。

団体(男子バスケットボール部) 1部昇格後一年目の20年度関西学生バスケットボールリーグ戦において、常勤の指導者がいない中、これまで培ったチーム力の結束をさらに固め、見事に5位の成績を収め、18年ぶりのインカレ出場を果たされました。

個人(柔道部所属) 武田 亮子 (21年経営卒) 大学入学後から数々の国際大会に日本代表として出場し、素晴らしい成績を収めてこられました。また、柔道部の女子主将としてもチームをけん引し、そのひたむきな努力が実を結び、国内最高峰の大会である講道館杯兼全日本選抜大会で創部初の日本一に輝かれました。

団体(文学部先輩ス) コロナ禍において、入学式やオリエンテーションが中止となった20年度新入生の不安解消に向け、文学部の上回生を中心に活動を開始。SNSを駆使して多くの新入生と直接つながり、ライブ配信、オンライン新生歓迎会の実施など様々な取り組みを企画実行されました。また、オンラインカフェを企画し、学部内の先輩・後輩の縦のつながりをもつて、日常的な「コミュニティ支援」を行い、互いを支え合う「まごころ」のある取り組みで、本学の新生支援に大いに貢献。他大学においても参考事例として活用されました。



# 校友会主催 2年ぶりの「校友音楽祭」開催!



八演奏家として洋楽器やオーケストラとの競演も多く、幅の広い活動を続け、世界20数か国において、日本の伝統文化の紹介、尺八の普及、発展に努めておられます。また、指導者として、日本のみならずハワイに教授所を開設し「清光社」という団体を作り、多くの門人を育成。近年は邦楽アンサンブル「みやこ風韻」で団長を務め、学校公演等を通じて邦楽の素晴らしさを若年層に普及伝承する活動にも力を注いでおられます。

11月21日、龍谷大学響都ホール校友会館にて2年ぶりに校友音楽祭を開催しました。開催に向けては、いつ決断するか、どのよう開催するか、どおりぎりまで調整で悩みましたが、何とか無事に対面での開催ができました。今回は、音楽祭の様子をYouTubeでも配信し、多くの校友に視聴いただきました。

毎年、圧巻の演奏で会場を盛り上げてくれる吹奏楽部OB・OG会がコロナ禍で参加できず残念でしたが、今年も卒業生の2バンドと、学生の2団体が出演してくれました。オープニングは、瀬田のよさこいサークル「華舞龍」の演舞。舞台上はソーシヤルダンスによる人数制限、掛け声禁止、舞台下のマスクの着用という厳しい状況の中でも、元気に全力で踊ってくれました。

そして、黄色いトマトOB・OG会からは、「Yellow Note」。洗練されたジャズ、リズム&ブルース。龍谷大学のOB・OGバンドのレベルの高さに惚れ惚れするステージでした。来年も学生と卒業生とが、様々なジャンルの音楽や演舞を楽しみ、愛おむ音楽祭ができるようにと願いを込めてラストも「華舞龍」が熱く踊ってくれました。(事業部会長 小濱聖明)

## 校友短信

### 相愛大学学長就任

釋 徹宗さん (89年文博満期退学)



22年4月1日、相愛大学学長就任。浄土真宗本願寺派如来寺住職。宗教思想や宗教文化の領域において、比較研究や学際研究を行っている。論文「不干斎ハビアン論」で涙骨賞(第五回)、著書『落語に花咲く仏教 宗教と芸能は共振する』で河合隼雄学芸賞(第五回)、また仏教伝道文化賞・沼田奨励賞(第五十一回)を受賞している。近著に『天才 富永伸基』(新潮新書)、『歎異抄 救いのことば』(文春新書)など。

### 西国第一番札所 那智山青岸渡寺住職

高木 亮英さん (72年法卒)



21年8月5日、那智山青岸渡寺住職就任。これまで同寺副住職などを務め17年には権大僧正昇任。諸国霊山100余か所、中国、インド、韓国仏教聖地巡礼やスペイン巡礼を行っている。卒業後、父の遺志を叶えるためプロジェクトチームとともに那智四十八滝回峰行復活に努め、92年に復活を果たす。熊野修験再興33周年を記念した「熊野修験」写真集では那智四十八滝行が取り上げられ、修験についての思いを述べている。

校友 Who's Who

DJ/プロデューサー (FPM)

田中 知之 さん

(89年法卒)



プロフィール
95年デビュー以降、8枚のオリジナルアルバムをリリース。多数のアーティストのプロデューサーや、布袋寅泰、東京スカパラダイスオーケストラ、サカナクションなど100曲以上の作品のリミックスも手掛ける。海外映画・ドラマへの楽曲提供の他、世界三大広告賞でそれぞれグランプリを受賞したユニクロのウェブコンテンツ『UNIQLOCK』の楽曲制作も担当。海外でも約60都市でのプレイ実績を誇り、米国のコーチェラ・フェスティバルなど海外の有名フェスへの出演経験も多数。

※リミックスとは原曲を編集し、新しいバージョンの楽曲を作り出すこと

「何が起るかわからない人生で、ベストを尽くす」



いつも心に音楽が

龍谷大学へは高校3年の時点で推薦が決まり、その頃から京都のディスコ「マハラジャ」で皿洗いのバイトをする中で、DJという存在を知りました。大学では3年で卒業単位を全て取り終え、4年生は主に学外で音楽活動をしてきたのですが、大学での楽しい思い出は多く、特に上海旅行の「鑑真丸」での船上パーティーでDJとして参加できたことが心に残っています。

出版社に転職しました。そんなサラリーマン時代も、終電まで働き、退勤後は朝までDJをプレイするという一貫して音楽漬けの日々でした。その中で、京都のクラブ「メトロ」で開いたイベントが世界中の音楽業界から注目を集め、それを転機にメジャーデビューを果たしました。そこから、世界60か国余りを飛び回って、色々な場所で音楽活動をさせてもらっています。

2021年夏の国際的なスポーツ大会の音楽監督として
取り上げられるのは、決まって東京2020オリンピック開会式の冒頭を手がけた部分ですが、実際には東京2020開会式で音楽の関わる全範囲に

責任を持つのが音楽監督です。

延期前の当初は、パラリンピック開会式の音楽監督でしたが、2021年1月に東京2020オリンピック開会式およびパラリンピック開会式の音楽監督として正式に依頼を頂きました。本格的に動き

はじめた3月頃からコロナ禍が再拡大し、大人数の会合が禁止され、練習の場も奪われました。直前まで度重なるトラブルや退任劇があり、国内外から厳しい目が向けられ、組織委員会やIOCとの交渉も難航。そして大会本

番の4日前になって、開会式冒頭4分半の音楽が白紙になったのです。監督である僕が作るしかない、既に完成していた映像やパフォーマンスとのシンクロと

いった細かな制約の中を実質30時間で作曲しました。閉会式に用いた富田勲さんのシンセサイザーの楽曲が、一度は差し換えを命じられたのですが、彼がいかに偉大な音楽家であるかをIOCに熱弁し説得しました。コロナ禍がなければもっと伸び伸びできたのですが、開催への不安を常に抱えながら、様々な障壁やトライ＆エラーを乗り越えてきたプロジェクトでした。それでも、無事に、と言えるかどうかはさておき、式典を開催できて、自分でも納得いくものを作り上げた貴重な経験でした。悔いはありません。

9.11テロ事件当日に予定していたワールドトレードセンターでのDJイベントが、たまたま前倒しになつて危機を免れました。大学時代には高校も同じだったゼミの仲間を、そして卒業直後には4年間仲が良かった友人を、病気で亡くした経験もありました。

僕は、苦勞をできるだけ避けるタイプですが、ただし常に「チャンスと流れに乗る勇氣」を持ち続け、自分のベストを出し尽くすようにしています。その精神が根付いたのは、人生何が起るかも分からず、命は儂いものだ痛感してきた経験からなのかもしれません。

王道の音楽家とはいえない僕が、東京2020オリンピックの音楽監督までさせていたのだ。そんな経験が少しでもこれからの若者たちの力になればと、今年、ある音楽大学で講師をすることになりました。大学の勉学では学べないようなことを伝えていきたいと思っています。

龍谷大学じゃなければ僕は世界チャンピオンになれていなかったと思う

校友 クローズアップ

ボクシング WBOミニマム級 世界チャンピオン

谷口 将隆 さん

(16年文卒)



人生で一番興奮した時間

11ラウンドが始まった時には、体力的、精神的にも疲労はピークに達して

いました。それでも、観客の声援に後押しされて、左ストレートが自然に出ました。その後はリングを降りるまでの記憶はありません。TKOで決まった時こそが「人生で一番興奮した」時です。

チャンピオンは強いですが、逃げたり引いたりしたら一瞬にして飲み込まれます。挑戦者らしく戦えたことが勝ちにつながったと思っています。

全てを否定された敗戦からの成長

プロ1年目は全勝したものの、2年目は3回も負けを喫しました。負ければ、その試合のための準備が全否定されたことになり、プロでの敗北は重みを感じました。どうすれば勝てるか？を眠れなくなるまで考えるようになりました。

その時からは本当に成長したと実感しています。めっちゃくちゃ楽しかった渡邊久ゼミ

4回生で50単位を取

得。ものすごく勉強しました。結果として全単

位、80点以上でした。スポーツ推薦で入学しましたのでボクシング一色だと思っていましたがゼミのメンバーが皆、親しくなり、学生生活と部活を両立することができました。龍大時代は本当に楽しかったし、印象に残っています。

ボクシング部のこと、そして龍谷大学現役生へ
主将になった4回生の時、同期がおらず、相談相手がない中で人をまとめることの難しさを痛感しました。自分の試合

に集中する中での後輩指導は対応能力が超過していたものの、他方では様々な良い経験を積むこともできました。

ボクシング部では個人戦でありながら、リーグ戦は団体戦なので、チーム一丸となって戦う良さがありました。大学生の間は部活を十分に楽しめ、今は無理をしても

頑張つてほしいと思います。「努力は裏切らない」と言いますが、努力の仕方を間違えると、努力は平気で裏切ります。失敗しても、何百通りのやり方を考えて限界まで突き詰めていくと、どれかに正解があります。自分がこれと決めたものは突き詰め、試行錯誤して頭を使って最後の最後まで考え抜きながら努力の仕方を考えてほしいです。

「俺は今ここで生きていけるぞ」と実感するボクシング
中学1年生の時に友達に誘われて始めたボクシング。やっけていくうちに好きになり、高校2年生の時にインターハイに出場し、好きなことで大学にまで進学でき、好きなことで生かされてもらっているのが幸せなことだと思います。

自分が過ごしてきた道が少しでも違っていたら今の自分はなく、龍谷大学でなければ僕は世界チャンピオンになれていなかったと思います。

人生の中で、今ここで生きているという実感はそうはないと思います。が、試合で勝った時には「俺は今ここで生きていけるぞ」とすごく実感しました。

これから世界チャンピオンとして、いろんな方の期待を背負って戦っていく中で、プレッシャーはありますが、そういう時こそ原点を忘れたくありません。「好きだからやっている」ということを。

(インタビュアー)ボクシング部 先輩 真野義一(00年経営卒)



プレーベン医科大学付属病院



ブルガリア(卒業式)

校友最前線

医師

鈴木 史郎さん (02年社会卒)



プロフィール

02年3月社会学部臨床福祉学科卒業。学生時代はボランティアサークルBBSに所属。02年4月大阪府内で塾講師として就職。09年2月プレーベン医科大学医学部医学科入学。同大卒。19年3月第113回医師国家試験合格。同年4月から21年3月まで初期研修。21年4月から専攻医となり東神戸病院に勤務。

ベストな医療を考え、生活を根本から支える医療

海外医科大学へ留学
医学部を調べる中で、まず金銭的な壁が立ちました。

療や福祉に貢献したい」と一念発起し、医者を志しました。

授業は全て英語なので、勉強についていくのに必死でしたが「自分で選んだ道と場所で学びたいことを学んでいるのだから、ここでやめるわけにはいかない」という強

い壁を乗り越えて
授業は全て英語なので、勉強についていくのに必死でしたが「自分で選んだ道と場所で学びたいことを学んでいるのだから、ここでやめるわけにはいかない」という強

結果だけ切り取れば、医者＝成功者といったイメージ

結果だけ切り取れば、医者＝成功者といったイメージ



クリスマスに行われた総回診

やはり自分には福祉の道

児童福祉に関心があ

度挫折しても諦めない

僕の中の夢

ジを持たれるかもしれない。しかし、遠回り

経営者登場

梅本 友之さん (82年経営卒)

イズミヤ株式会社 代表取締役社長



「リアル」と「デジタル」の融合 地域と共生するスーパーを目指して

想像もしていなかった社長就任
部活動は卓球部に入門しました。中学から卓球を続けていたこともあって1年夏からレギュラーとなり、5部から3部リーグに昇格しました。経営学部を選択した理由には、商売をしていた父親の影響があったからです。

最初の配属は衣料品部門で、婦人服を8年担当しました。15年11月にはイズミヤの関係会社で飲食会社の㈱サンローリーに専務取締役、16年4月に同社代表取締役社長に就任しました。当時は関連会社の役員をすればそのまま定年を迎えることが通例でしたが、定年直前の19年4月に取締役に昇格し、会社としてイズミヤに戻り、会社の一大プロジェクトである分社化に責任者として取り組むことにな



西成区 花園店(1号店・本社)



学生時代 卓球部の合宿にて

た。入社当時から社長を目指すなどという目標の存在すらありませんでしたが、戻ってから9か月で社長に就任するという異例の人事でした。

コロナ禍での取り組み
20年1月、社長に就任して間もなく、日本で新型コロナウイルス感染症が確認されましたが、食品分野の売り上げは2月ごろから徐々に増え、3月以降は急激に売り上げが増えつきました。

今後の展望
以下の2つの課題について積極的に取り組んでいこうと考えています。



地域との共生 敷地内でお客様と花壇づくり(玉造店)

この度、40年ぶりに大学を訪れました。校舎の姿、形は変われども、龍大のDNAの匂いは十分に感じ取れ、懐かしかったです。「卒業生の皆様には、今後ともイズミヤのご利用をお願いするとともに、現役の皆様には、イズミヤ(株)も就職先候補として選択肢の一つに入れていただければ幸いです。有難うございました」。

りましたその年の12月にはプロジェクトもほぼ完了しましたので、前職の㈱サンローリーへ戻してもらえらると思っていたのですが、イズミヤの前社長より社長就任の要請があり、お受けすることとなりました。

因果の関係において「偶然」と「必然」があり、過去の行動、言動、努力が「偶然」を呼び込み、結果として「必然」になると理解しています。

容量商品の購入によって買い上げ点数と客単価が激増したことが要因でした。コロナ禍で大変な時に努力していただいた従業員の皆さんに感謝するとともに、「アフターコロナはすでにコロナ禍の中で始まっている。お客様の生活スタイルの変化をいち早く察知し、コロナ禍の今、対応を図っていこう」と言い続けています。

存在価値を高めていきたくと考えています。

るかを描き実現させたいと思つています。今年度はイズミヤ創業100周年にあたり、各店舗で地域のお客様とつながる取り組みを行っています。101年目を迎える22年度も、さらに地域の皆様が健康で心豊かな生活が送れるよう、従業員と共に邁進していきます。そして、お客様にとって「無くてはならないイズミヤ」としての存在価値を高めていきたくと考えています。

# 「校友会支部会報」編集長に聞く

特集

編集長(名前、卒年、学部)  
創刊号の年・月 / 発行回数  
入会希望者のための連絡先  
年会費

- 支部会報(たより)をなぜ発行しようと思ったのか?
- 我が支部会報の特長、個性、アピールポイント、など
- 発行にあたって苦労したこと、良かったことなど
- 今後の展開について

HPからも支部会報は閲覧できます。



## 東京支部

小澤直之さん(82年文卒)  
09年10月15日創刊 / 年2回発行  
(東京支部だよりと総会・講演会の支部からのお知らせ)  
連絡先 ryukoku.koyukai.tokyo.info@gmail.com  
年会費 1,000円



東京支部だより第13号

- 北海道支部の支部だより発行を知り、参考に。従来の年1回の総会だけでは、校友間の意思疎通が希薄なため、年賀会を企画し、総会の結果報告などを掲載して、校友間のコミュニケーションを深めたいと支部だよりの発行へ。東京支部のエリアも広範囲なので年会費など支部財政を強化する意味もあります。
- 支部の活性化へアイデアなどを聞いて掲載し、世代を超えた鼎談をして、皆さんへの情報提供を手厚くしようと努めました。「ネットの時代に、紙の情報誌が必要なのか」の意見もありますが、PCなど得手でない校友も多く、スタートしたばかりの東京支部のHPに支部だよりを掲載することでHPの充実にも繋げる目的も。実際に支部だより発行後、年会費も増収し、年賀会への参加者も年々増加。全国支部長会議での東京支部の情報発信ツールの役割も果たしました。
- 今後は、Webとペーパーメディアの連携をさらに充実していければと願っています。

## 阪神支部

竹野伸夫さん(74年経営卒)  
19年8月創刊 / 年1~2回発行(予定)  
連絡先 info@ryukoku-hanshin.org  
年会費 2,000円



阪神支部 支部だより Rokko No.1

- 私の前職場コープこうべのOB会「虹友会」(こうゆうかい)が会員に発行している「虹友会だより」を参考に校友に活動報告・計画をお知らせしなければと思い計画しました。
- 19年8月頃は総会報告を兼ねて、校友の神戸南京町「老祥記」曹社長との懇談報告、理事近況報告、活動計画、夏季ビア懇親会等の案内をしていました。その後、総会案内、阪神支部主催のイベント(西本願寺見学、酒蔵めぐり、神戸歴史探索等)、卒業生プロデュース「セカイイチオイシイ水」映画鑑賞、ビア大会、モダン塾等の様々な活動について参加されていない校友にも知っていただくために、活動計画も含めて広報活動の一環として発行しています。
- 発行にあたっては、広報担当がすることになっていますが、活動報告、今後の活動計画等の作成に時間と手間がかかるため、もう少し簡便に作成することを考えています。(今後はコスト削減も含めて2色刷りで計画しています)

## 山口県支部

久保史生さん(95年文卒)  
16年創刊 / 年1回発行  
連絡先 ymgb-kubo@pony.ocn.ne.jp  
年会費 1,000円



山口県支部だより第6号

- 編集長の職を設けておりませんが、事務局長の久保が編集をしています。当支部は、卒業生全員を会員としていることから、現在約1,200名の会員がいます。会員同士の情報交換の場として今までも年1回の総会を開催しているものの、参加者が固定化し交流も限定的になっていました。そのような中で、当支部の活動を知っていただき、より多くの皆様に校友会に参画をしていただくため、「たより」を創刊し、全会員に送付しています。
- 誌面は主に前年度の活動報告ですが、総会に参加できなかった会員の皆様にも、当支部の活動をお知らせできたのではないかと考えています。
- 昨年度はコロナ禍の影響でほとんどの活動ができなかったため、記事の内容に苦慮しましたが、活動報告に限らず、様々な情報を会員の皆様にお届けできればと思います。

## 福岡県・北豊支部

大江智城さん(80年文卒)  
16年8月創刊 / 8月・2月(年度中2回発行)  
連絡先 chijoe750@docomo.ne.jp  
年会費 1,000円



北豊支部会報「黎明」第10号

- 16年7月の発会式後、その様子を不参加の皆さんにも伝えるにはと考え、この会報を思いつきました。発会式に限らず、年1回の総会に欠席すれば、会と会員のつながりは総会案内と会費の請求だけということになります。1,000円の年会費をいただく分だけでも何か掛け橋になるものができればと、全くの事務局独断でしたが、発刊に踏み切りました。
- 主たる内容は当然諸活動の連絡・報告ですが、それだけでは紙面が埋まらないので「校友リレーエッセイ」なるものを企画し、会員にも原稿を書いてもらうようにしました。これが思ったより面白く、今ではこちらの方がメインとして読まれているようです。
- これだけ行事中止が続くと記事もなくなって、紙面作りにも苦慮するところです。支部内の知る限りの情報を駆使し何とかページを埋めていますが、そろそろ在庫切れで、一刻も早い新型コロナ騒動の終息が待たれるところです。

## 北海道支部

石井伸和さん(78年経済卒)  
02年8月創刊 / 年1回発行  
連絡先 ipi-ishii@par.odn.ne.jp  
年会費 3,000円



北海道支部だより20号

- 私が入会した01年には既に支部が運営され、会報も発行されていました。たまたま印刷業に従事していたことから、支部だよりの編集・印刷を任せられました。以後、編集者として考えたことは以下の通りです。
- ・北海道在住の卒業生全員に配布し入会を募る
- ・総会決議内容、公開講演会、親睦会、全国参加行事報告、コラムなどを掲載
- ・北海道は全国一広いので、集いは困難で広報にて補足
- 平成後期から、北海道支部の特徴として「得」「徳」「禿」の三ツクを研究、同時に大学への貢献の他に社会に貢献することを研究しています。
- 研究成果をコラムにて発表していくつもりです。

## 福井県支部

吉田純也さん(04年法卒)  
15年創刊 / 年1回発行  
連絡先 m-baba@hokuriku.ed.jp  
年会費 1,000円



福井県支部通信VOL.7

- 福井県支部の活動内容やその醍醐味を校友の方々に伝え、さらに校友会の会員拡大につなげていくため。
- 幅広い年代の方々が読まれるため、読みやすいように出来る限り文字を大きくし、写真等を入れながら紙面全体にメリハリをつけてレイアウトし、また、支部の活動や会員の多方面での活躍を簡潔に分かりやすく伝えることを心掛けました。
- 情報収集、支部や会員の方々への取材活動、編集・制作業務等。毎年、支部通信の発行を楽しみにしているという声が多数聞こえるようになり、次号発行への活力になっています。
- 支部通信の発行を継続していくこと。紙面作りにおいて、もっと会員の方々から情報提供や寄稿に協力していただけるような仕組みを構築していきたいと思っています。

## 兵庫県・丹篠支部

芦田淳一さん(74年経営卒)  
18年8月創刊 / 年1回発行  
連絡先 jandm@nike.eonet.ne.jp  
年会費 1,000円



兵庫県・丹篠支部会報第4号

- 支部創設10周年記念として前事務局長が発案。地域の人に母校や校友会の存在、卒業生に活動を知っていただきたいという思い。
- 幅広い年代に読んでもらうため、あまり硬くならず、かといって砕け過ぎないこと。
- ・校友紹介で寄稿してもらう会員の学生時代の思い出や現在の志などを語ってもらうこと。
- ・地域の観光名所などを紹介し、地域を知ってもらうため創刊号から掲載しています。
- ・支部総会での校友会来賓や教授の母校情報は、必ず掲載しています。
- 地元新聞社のOBが支部理事におられ、助けていただいております。事務局長として楽しんでやっています。
- 引き続き発行を重ね、一人でも多くの会員獲得を目指し、地域の公共施設にも会報を置いていただければと思っています。

## 福岡県福岡支部

松尾得晃さん(01年文院卒)  
18年6月創刊 / 年1回発行  
連絡先 ryukoku.fukuoka@gmail.com  
年会費 2,000円



福岡県福岡支部会報「光輝~Luster~」第4号

- 一人でも多くの校友の方々に、支部の活動・予定を伝えるため。また、紙面を用いることで、その家族や関係者にも内容が知れ渡ることを期待して。
- 特に目新しいところはないが、支部の全体的な活動報告だけでなく、会報の裏面にある「校友の輪」を通して、少人数での会合(福岡深草会・校友会女子会 龍Ron小町福岡支部)が行われていることを伝えていこう。
- 会報作成にあたり苦労したことは、読み手の興味が分からない、手探りの状態だったこと。また、編集者が会報作成の初心者なので、色使いや配置、フォント選びに難航したこと。そうした中で、会報発行を喜ぶ声が届いてきたことが次号への励みとなっている。
- 会報の作成・配布を継続していくこと。その中で、色々な立場・職種の方々が、情報発信に協力していただける会報にしたい。

## パナソニックグループ支部(紫松会)

友田雅裕さん(86年経営卒)  
14年創刊 / 年1回発行



紫松会 通信 一2021

- 新入会員の参画はグループ内定者からの連絡待ちですが、その間口を拡げることが課題でした。
- 紫松会はざつぱらんに楽しめる気軽な場がその持ち味ですが、学生の方に「高齢の人が集まる厳肅な会」といった誤ったイメージを持たれないように、笑顔の写真と砕けた雰囲気のコラムで少しでも本質を理解いただくよう考えたものです。(最初の誌名は「こんなんやりました!」でした)
- その後総会案内への同封や校友会の支部HPにも掲載し、会報に近いものになりましたが、今も「イメージを正しく伝える」ことを目的としています。さすがに今年はリアルな行事がなく「みんなの声」を集めて掲載することにしましたが、引き続き楽しい雰囲気を伝えて会員増・参加者増に寄与していきたいと考えています。

経済学部同窓会

経済学部同窓会ビジネス・ミーティング

11月3日に第6回ビジネス・ミーティングをオンラインで実施し、広告代理店やコンサルティング会社などで組織開発・人材育成に従事され、近年では「アートとサイエンスの融合」というテーマで、講演や著述で活躍されている山口周氏(独立研究者/パブリックスピーカー)に「ビジネスの未来」と題して、講演していただきました。

第二部では、パネルディスカッションを加藤秀弥准教授(キャリア主任)の司会のもと、5名のパネリストで討論を行いました。180名ほどの同窓生・学生が参加し、山口氏の説得的で分かりやすい説明に感銘を受けた、学生の質問が的を射っていたなど、様々な感想がありました。(会長 田中正勝)



経営学部同窓会

書籍「五十年の歩み」無料進呈

昨年「経営学部同窓会 五十年の歩み」の電子ブック版を刊行しましたが、会員の皆さまからの強い要望により、書籍として刊行することになりました。申し込みはおひとり一冊とし、無料で進呈いたします。申し込み期限は22年4月30日、発送は5月中旬を予定しています。

申し込み先リンク 1. パソコンの場合は、こちらのURLからお願いします。 https://www.ryukoku.biz/?page\_id=2799 2. スマホ・タブレットはこちらのQRコードからお願いします。



申し込みの流れ 名前、卒業年、住所、電話番号、メールアドレス、備考 → 確認 → 送信 (会長 米田禎孝)

法学部同窓会

学生向け就職支援イベント

現役学生向けの直接支援事業として、12月19日に法学部と共催で「OB・OGによる公務員懇談会」を開催しました。

国家公務員、地方公務員として働く20代から50代までの法学部卒業生が学生からの質問に答える形式で、受験勉強の思い出から現在の仕事の実態まで本音で語り、学生からは、一度に複数のOB・OGの方から様々なお話を聞くことができた大変好評を得ました。

次年度以降も、コロナの状況をみながら、現役学生の支援事業の開催、卒業生の交流事業を開催し、延期している法学部同窓会50周年記念事業の企画も考えていきたいと思っておりますので、皆様の支援をよろしくお願い申し上げます。(会長 成松重人)



政策学部同窓会

学部創設から10年「あの人は今、何してる？」

11月14日、学生×卒業生のキャリアイベントとして「あの人は今、何してる？」をオンライン開催しました。各分野で活躍されている卒業生6名をゲストに招待し、登壇者が3名ずつ2つのグループ(プロパー組と転職組)に分かれ、座談会形式にてトークを実施しました。

政策学部での学びや経験が現在のビジネスにどのように活かされているのか、また仕事上のやりがいや苦労話、転職組は転職に至った経緯なども話していただき、参加者からは、「同世代の悩みを共感できた。」「仕事のモチベーションが上がった。」などの感想をいただきました。



今後も会員の皆様にとって、良い「刺激」となるよう事業計画を行ってまいります。(副会長 佐々木了恵)



SWOT分析による戦国武将の成功と失敗 森岡健司 (95年経済卒) 四六判 190頁 ビジネス教育出版社 1,650円 21年10月1日発行



Visitez le Japon au fil de son histoire 杉原正志 (04年国際文化卒) 156cm x 21.8cm x 27cm 356頁 Omake Books社 2,990ユーロ 21年8月26日発行

校友の著書



祝電 近藤健 (83年法卒) 四六判 240頁 一般社団法人随筆春秋 1,320円 21年11月5日発行



評論集『民衆詩派ルネッサンス 実践版―一般読者に届く現代詩のための詩論』 苗村吉昭 (90年経済卒) 四六判 373頁 土曜美術社出版販売 2,750円 21年11月1日発行



おかあちゃん、こんな僕やけど、産んでくれてありがとう 青木聖久 (12年社博修了) 四六判 320頁 株式会社ペンコム 1,650円 22年1月1日発行



脱炭素経営入門 松尾雄介 (98年経済卒) 四六判 312頁 日本経済新聞出版 2,420円 21年11月18日発行

スポーツのメッカ、スイス・ローザンヌで生きる



海外で活躍する校友 工藤美咲さん (16年経済卒)

世界野球ソフトボール連盟メディア部



プロフィール 16年経済学部スポーツサイエンスコース卒業。MLB・NFLの中継に携わったのち、20年、スイスのスポーツマネジメントの大学院AISTSを修了。一年間のインターンシップを経て、現在は正規職員として世界野球ソフトボール連盟(WBSC)のメディア部に勤務。

「スポーツを仕事にした」 13歳。スポーツを仕事にしたい、アメリカのスポーツを自分の目で見てみたい、そう思ったのは今から15年前のことです。こうして現在、スポーツの国際機関で仕事をしていることは、面白いようで、また同時に必然であるのかのようにも思えます。

大学の制度を利用してようやく実現したアメリカ留学では、日本と同様に学生トレーナーとして活動しました。また、NFL観戦で目の当たりにした「あらゆる差異を越えて感情を共有できるスポーツの力」は、今でもわたしがスポーツ界で生きる動機につながります。卒業後はスポーツ専門の映像制作会社でMLB・

NFLの中継を中心とした様々なスポーツの放送に関わりました。ここでは仕事は楽しく、まさに夢を描いていた「スポーツを仕事にする」そのものでした。 IOCのお膝元ローザンヌへ ではなぜそれを辞めてスイスに来たのか? それは、厳しい環境下に身を



置きたかった、というのが一番の理由です。国際オリンピック委員会(IOC)が創設者の一つでもあり、わたしが20年冬に修了したInternational Academy of Sport Science and



AISTS卒業式

Technology(AISTS)は、50以上の国際スポーツ連盟が拠点を置くローザンヌにあります。国籍、年齢、経歴もまったく異なる一方で、同じようにスポーツへの野心を持ち活躍する同士に出会えたことは、とても大きな刺激になりました。 現在は野球・ソフトボール・ベースボール5の国際統括団体である

面白く生きていきたい 21年、自国開催のオリンピックに国際連盟の一人員として参加できたことは何物にも代え難い経験となりました。そして、WBSCは世界的には競技人口が少ないスポーツ種

World Baseball Softball Confederation(WBSC) /世界野球ソフトボール連盟)のメディア部に勤務しています。スイスでの就職は、欧州連合域外の国民にとって難しいことはよく知られていますが、持ち込みの企画書が幸運にも評価され、無事にインターンとして採用されました。その後数か月ごとの契約更新でしたが、一年後に晴れて正規雇用が決まりました。

目の国際統括団体だからこそ、普及の過程を内部から見られることに興味をそそられています。 最後に、いまのわたしがあるのも龍谷大学の恩師をはじめ、会うべき時に会うべき人に会えたことが一押ししてくれたり、道を正してくれたり。その一方で、気骨が折れるような経験や言葉も、更なる舞台への糧となりました。もうすでに様々なことを経験してきたかのように感じますが、わたしのキャリアはまだまだ序盤です。スポーツの力を信じて、これからも面白く刺激のある道を歩んでいきたい、そう思います。

最後に、いまのわたしがあるのも龍谷大学の恩師をはじめ、会うべき時に会うべき人に会えたことが一押ししてくれたり、道を正してくれたり。その一方で、気骨が折れるような経験や言葉も、更なる舞台への糧となりました。もうすでに様々なことを経験してきたかのように感じますが、わたしのキャリアはまだまだ序盤です。スポーツの力を信じて、これからも面白く刺激のある道を歩んでいきたい、そう思います。



東京2020オリンピック・パラリンピック

### 支部の活動(報告)

#### 北大阪支部



#### オンライン料理教室の開催

10月27日、茨木市の日本料理店「成田家」でオンライン料理教室を開催しました。講師は店主の浅川和彦さん(94年社会卒)です。落語好きの浅川さんの巧みな話術と包丁

さばきに引き込まれ楽しい時間を過ごしました。できあがった料理はオンラインで参加された皆さんには申し訳ありませんが、美味しく頂きました。好評につき次回開催を検討中です。お楽しみに！  
(支部長 浅井純一)

#### 高槻市安満遺跡公園 散策

12月4日、高槻市の国史跡の安満遺跡公園を散策しました。遺跡公園内のレストランで昼食を楽しんだ後は、高槻市文化財ア



ドバイザの森田克行さん(74年文卒)の案内で広大な公園内に点在する弥生時代の遺跡を巡りながら解説を受けました。当日は、支部活動再開を喜び合うとともに古代ロマンに思いを馳せた一日でした。  
(事務局 高井一実)

#### 学校園教員支部(教龍会)

#### 教職志望学生との交流で繋がりを深める

教龍会の活動について、21年度全てオンラインにより会員同士の交流および会員と教職志望学生との交流を行いました。特に、12月は約120人が参加し大規模な会となりました。また、教龍会では機



関誌「黒板を背にして」を発行しており、今回で第25集となりました。会員の近況報告や実践報告を掲載し、明日からのエネルギーをもらえる内容となっております。詳細については、校友会ホームページを参照してください。  
(支部長 佐古田英樹)

#### 山口県支部

#### YouTube Live総会・記念講演会

10月16日、新型コロナウイルス感染拡大の影響から当支部初の試みとして、YouTubeの動画配信による支部総会を行いました。内容は、はじめに今年度の総会として当支部の理事が集まり前年度および今年度の活動報告を行い、続いて校友会女子会 龍Ron小町の案内、それから19年に龍谷奨励賞を受賞された当支部の会員の大來尚順さん(05年文卒)による記念講演「発想の転換 外国語か



ら学ぶブツダの教え」の順番で構成しました。  
(事務局 久保史生)

#### 阪神支部

#### 「神戸モダン塾in神戸 東灘セミナー」(感染症対策の上、実施)

1月16日「神戸モダン塾」を開催し、中野正博講師(73年経営卒)の「改正された方式による「自筆証書遺言」作成のポイント」と、坂本政博講師(76年経営卒)の「空き家とコロナと不動産」のテーマでセミナーを行いました。18名が参加して活発な質疑が行われ、専門分野での知見が得られた貴重な会となりました。  
(事務局 関本)



坂本政博さん

中野正博さん

#### 北カリフォルニア支部

#### 料理イベントと消しゴムはんこのワークショップ

オンラインで岡本和子先生の料理イベントと、校友の麻田弘潤先生(98年短大卒)をお招きして消しゴムはんこのワークショップを行いました。料理イベントでは、各家庭にある

お皿を使って盛り付けをチェックしていただき、綺麗に見える工夫を教わりました。消しゴムはんこのワークショップでは、麻田先生の手元をカメラで映しながら、基本的な彫り方と押し方を教わりました。皆、夢中になって彫っていました。  
(事務局 桑原ひとみ)



#### 東京・神奈川県支部

#### 校友会女子会 龍Ron小町スマートシェア観光@築地本願寺

東京支部、神奈川県支部の共催で龍Ron小町イベントをネット上で開催しました。案内は、築地本願寺副宗務長の東森尚人さん(95年文院了)、旅人は、平塚典子さん(80

年文卒)と中川結実さん(21年農卒)です。リモート配信でしたので、どなたでも旅気分が味わえる企画となりました。「パイプオルガンが聴けてよかった」「知らなかったことがたくさんあった」など感想が寄せられました。  
(東京支部長 大原延恵)



#### 岡山県支部

#### ハイブリッド開催に好評

新型コロナウイルスまん延の影響で20年度は書面総会となりましたが、21年度も事業を行わないと今後の活動にも影響が出るという意見が多く、本部からのリアルとリモートによるハイブリッド開催の

提案があり、時期を秋にして「文化講演会」を中心とした総会を開催しました。リモートで参加した会員からも好評でした。当分このかたちでの開催でやっというところと思っています。  
(事務局 東平泉)



#### ホームカミングデー at ホーム開催

今年度は龍谷祭が初めてのオンライン開催となるなど、昨年度に引き続き、キャンパスに来ていただく形式のホームカミングデーを開催することができませんでした。そこで、10月30日、31日、11月6日、7日の4日間、オンラインでホームカミングデー at ホームを開催しました。今年度は事前収録した映像を特設ページに公開することにより、期間内の好きな時間帯に視聴できる形式にしました。

卒業生の飯田光輝さん(99年文卒) ゴルフの松山英樹プロの専属トレーナー、かみじょうたけしさん(00年文卒) 松竹芸能の芸人、福島暢啓さん(11年文院了) MBS毎日放送アナウンサーから、それぞれのジャンルのとっておきの話を披露していただきました。

入澤学長からは、本学の必修科目であり卒業生にとっても印象深い「仏教の思想(仏教学)」を改めて学ぶ機会として、「卒業生版 仏教の思想(仏教学)」を

講義いただきました。また、国際学部の清水教授から「仏教SDGs」と「自省利他」と題して講義いただきました。さらに、野外活動部の学生が身近にあるものを使って簡単に作れるおもちゃの作り方を教える「お子さま向けイベント」や、卒業生が在学当時の思い出を語り



#### 2021年度全国支部長会開催終了後に初めてのオンライン懇親会を実施

11月6日、第36回全国支部長会をオンラインで開催しました。赤松校友会長の挨拶に続き、京都市支部、岡山県支部、山口県支部からの支部活動事例紹介と1回目のグループミーティング、午後からは兵庫県・丹篠支部の支部活動事例紹介と2回目のグループミーティングを行いました。

グループミーティング終了後、入澤学長からのメッセージに続いて、安藤副学長から龍谷大学の現状を報告いただきました。その後、校友会の成松理事(総務部会)、小濱事業部会長、畑理事(若手会プロジェクト)、米田広報部会長および飯沼龍Ron小町会長から21年度の状況と今後の取り組みについて説明がありました。

今年度は、支部長会開始前のキャンパスツアーの動画配信や、昼休憩時の北大阪支部料理教室の動画配信など、空き時間の活用も工夫しました。

全国支部長会終了後、初めての試みとしてoVice(オヴィス)とZoomを使ったオンライン懇親会を実施しました。oViceはWeb上で自分のアバターを自由に動かし、相手のアバターに近づくことで簡単に話しかけられる新感覚のバーチャル空間です。最初は自分のアバターを見つけることができず戸惑われていた方も、経験者に教わりながら多くの参加者と親睦を深めました。初めてのオンライン懇親会は、90分という時間が短く感じられるほど盛会のうちに終了しました。

#### 校友会女子会 龍Ron小町オンラインイベント開催



「龍Ron小町オンラインイベント」を開催しました。

「十二月展」代表幹事 若山未来さん(文学部4回生)

3つの動画コンテンツを用意し、期間限定(12/11~12/12)で校友会のHPにアップしました。

コンテンツの1つである ③龍谷ミュージアム「十二月展」ツアーでは、龍谷大学文学部博物館実習を受講されている学生さんに、自身が担当した展示の企画や資料集め~運営までの秘話や、見どころなどをいくつか紹介いただきました。

オンラインイベントは初の試みでしたが、幅広い層の卒業生に視聴いただきました。

- 動画コンテンツ ① オンラインキャンパスツアー ② 欣浄寺オンラインツアー ~深草少将と小野小町のロマンの地~ ③ 龍谷ミュージアム「十二月展」ツアー



大黒ラーメン 本店

岡本佳宏さん

### 校友のお店 だいこく 大黒 ラーメン



ラーメン (飽きのこないスープ)

京阪線の「伏見桃山」駅を降りて、京町通を北へ少し歩いたところに「大黒ラーメン」はあります。「龍谷大前深草」から大阪方面へ4つ目の駅と近いことから、深草キャンパスで学んだ龍谷大生なら一度は立ち寄ったという人も多いのではないのでしょうか。

運営する株式会社正栄の代表取締役である岡本佳宏さんは、80年経営学部の卒業生で、兵庫県西宮市から通学して

ました。学生時代の思い出は、様々な地方から集まってきた、熱心に学んでいる同級生たちと一緒に過ごせたことだと言いま

「味もメニューも変えることなく長くやってきたお陰で、家族三世代で来ていたというお客さんも多く、地域の方々にも愛がこもりました。全ては龍谷大学で学んだことが始まりです」とのこと。

チャーハン

**だいこく 大黒ラーメン**

【大黒ラーメン 本店】  
〒612-8087 京都府京都市伏見区京町大黒町118  
京阪本線「伏見桃山駅」、近鉄京都線「桃山御陵前駅」から徒歩約5分  
TEL 075-612-3153  
営業時間 11時～23時  
定休日 月曜日

【大黒ラーメン 東福寺店】  
〒605-0981 京都府京都市東山区本町13丁目246-1  
JR奈良線「東福寺駅」、京阪本線「東福寺駅」から徒歩1分  
TEL 075-541-3153  
営業時間 11時30分～23時  
定休日 月曜日



黄色い割引券

## 変わらぬ味で40年

型のスーパーマーケットを全国展開していた大手流通企業に就職しましたが、同期入社したほとんどが辞めていく厳しい社員時代だったそうです。先が見えない中で自分のできることは何なのか、一念発起して3年間のサラリーマン生活に別れを告げました。

「味もメニューも変えることなく長くやってきたお陰で、家族三世代で来ていたというお客さんも多く、地域の方々にも愛がこもりました。全ては龍谷大学で学んだことが始まりです」とのこと。

「味もメニューも変えることなく長くやってきたお陰で、家族三世代で来ていたというお客さんも多く、地域の方々にも愛がこもりました。全ては龍谷大学で学んだことが始まりです」とのこと。

「味もメニューも変えることなく長くやってきたお陰で、家族三世代で来ていたというお客さんも多く、地域の方々にも愛がこもりました。全ては龍谷大学で学んだことが始まりです」とのこと。

今号では実務を担当されている編集長に制作にあたり心がけていること、今後についてなどを伺いしました。

これは総会に参加できなかった会員の皆さまにも、支部の情報を共有することができそうです。

# 『鬼滅の刃』に学ぶ仏教

浄土真宗本願寺派蓮生山 永明寺 住職  
松崎 智海

75年生まれ。98年文学部卒業。14年間高校教師として教壇に立つ。現在は浄土真宗本願寺派 永明寺住職として「縁が生まれてみんながワクワクする開かれたお寺」を目指し活動をしている。SNSなどでの情報発信にも力を入れており、話題性のある住職としてメディアに取り上げられる。現在ツイターのフォロワーは3万8千人を超える。著書に『だれでもわかる ゆる仏教入門』（ナツメ社）、『「鬼滅の刃」で学ぶはじめての仏教』（PHP研究所）がある。

「鬼滅の刃」という漫画をご存じでしょうか。週刊少年ジャンプで連載され、全23巻のコミックス累計発行部数は1億5千万部。公開された映画は興行収入が400億円を超え（日本歴代1位）空前の「鬼滅ブーム」を巻き起こしました。

この物語の舞台は大正時代。主人公・竈門炭治郎が家を空けたある日、家族が鬼に惨殺され、唯一生き残った妹・竈門禰豆子も鬼になってしまいました。禰豆子を人間に戻す方法を求め、鬼を討伐する組織である「鬼殺隊」に入隊し、鬼の祖である

ボスである鬼舞辻無惨からその血を分け与えられることによって鬼になりま

の鼓でも打つていけばいい」という他人の言葉にとりつかれ、鬼になったのちは体に鼓が埋め込まれた姿をしています。

「滅する」とは 仏教を開かれたお釈迦様は、執われに振り回される心の正体を煩惱と教えてくださった。普段は善人のような顔を

人生はつらく悲しいものではないけれども、それを解決する道が必ずある。その道を私たちに伝え導くために、仏であるお釈迦様は、人としてこの世界に生まれてきてくださったのです。根深い苦悩を解決する救いの道である仏道は、私たちの闇を切り裂く希望の光なので

松崎智海  
鬼滅の刃  
で学ぶ  
はじめての  
仏教

21年5月22日発行 PHP研究所

鬼は私に わたし

鬼滅の刃が鬼を滅する物語であるのであれば、仏教は煩惱を滅する物語です。片や空前のヒットを生み、片や2,500年間続く。ともに私たちの心の奥にあるものを映し出し、それを解決していく道を示しているものと言えるのではないのでしょうか。

「支部会報編集長に聞く」 校友会支部は76年に北海道支部が誕生して現在で50支部を数えます。

人生はつらく悲しいものではないけれども、それを解決する道が必ずある。その道を私たちに伝え導くために、仏であるお釈迦様は、人としてこの世界に生まれてきてくださったのです。根深い苦悩を解決する救いの道である仏道は、私たちの闇を切り裂く希望の光なので

- 今春定年退職される先生方
- 2022年3月31日
- 〔文学部〕 松本 敏彦 教授
  - 若原 雄昭 教授
  - 〔経営学部〕 寺島 和夫 教授
  - 野間 圭介 教授
  - 〔先端理工学部〕 岡田 至弘 教授
  - 長谷 智弘 教授
  - 遊磨 正秀 教授
  - 和田 隆博 教授
  - 〔社会学部〕 青木 恵理子 教授
  - 清水 隆則 教授
  - 〔政策学部〕 北川 秀樹 教授
  - 〔短期大学部〕 川崎 昭博 教授

## 編集後記

「支部会報編集長に聞く」 校友会支部は76年に北海道支部が誕生して現在で50支部を数えます。